

5. ご利用料(月額)のご案内

- 〔1〕生活費(食費・共益費) **42,490円**
- 〔2〕事務費(施設運営費) **10,000円 ~ 86,400円**
※事務費は前年度収入額に応じて変わります。(下表参照)
- 〔3〕管理費(家賃) **16,000円**
- 〔4〕個人費用(居室の電気・水道代、テレビ視聴料、レクリエーション参加費、嗜好品代、介護サービスを利用した場合の利用料等の経費)
- 〔5〕暖房費(11月~3月のみ) **4,660円**

*月額利用料は、上記〔1〕~〔5〕の合計額です。

	前年度収入額(注)	事務費額
1	1,500,000円以下	10,000円
2	1,500,001円 ~ 1,600,000円	13,000円
3	1,600,001円 ~ 1,700,000円	16,000円
4	1,700,001円 ~ 1,800,000円	19,000円
5	1,800,001円 ~ 1,900,000円	22,000円
6	1,900,001円 ~ 2,000,000円	25,000円
7	2,000,001円 ~ 2,100,000円	30,000円
8	2,100,001円 ~ 2,200,000円	35,000円
9	2,200,001円 ~ 2,300,000円	40,000円
10	2,300,001円 ~ 2,400,000円	45,000円
11	2,400,001円 ~ 2,500,000円	50,000円
12	2,500,001円 ~ 2,600,000円	57,000円
13	2,600,001円 ~ 2,700,000円	64,000円
14	2,700,001円 ~ 2,800,000円	71,000円
15	2,800,001円 ~ 2,900,000円	78,000円
16	2,900,001円 ~ 3,000,000円	85,000円
17	3,000,001円以上	86,400円

(参考)

例えば、前年度の収入が100万円だった場合、左表150万以下の事務費額1万円に該当しますので、1ヶ月のご利用料金は

4月~10月の期間

11月~3月の期間

〔1〕生活費
42,490円
+
〔2〕事務費
10,000円
+
〔3〕管理費
16,000円

計 68,490円

〔1〕生活費
42,490円
+
〔2〕事務費
10,000円
+
〔3〕管理費
16,000円
+
〔5〕暖房費
4,660円

計 73,150円

となり、これに〔4〕の個人費用を上乗した合計額が月額利用料となります。

(注) 前年度の総収入額から租税、社会保険料、医療費等必要経費を控除した金額です。

お問い合わせ先

ケアハウス いわかがみ

〒399-9601 北安曇郡小谷村大字北小谷1717番地

電話 0261-71-6611 FAX 0261-71-6601

ホームページアドレス <http://sky.geocities.jp/otariiwakagami/>

※『入居申込書』はホームページよりダウンロードできます。

いつも優しく

社会医療法人 城西医療財団
広報文化委員会 編集



今号は、平成22年4月に開設したケアハウス「いわかがみ」について、お届けいたします。

目次:

ケアハウス「いわかがみ」開設

理事長・総長 関 健 2
いわかがみ所長 相澤 稔

施設のご利用案内

1. ケアハウスいわかがみについて
2. ご利用条件について
3. ご提供するサービスについて
4. 建物・居室の概要
5. ご利用料金について 3~4

いつも優しく

社会医療法人 城西医療財団
〒390-8648
長野県松本市城西1-5-16
TEL 0263-33-6400
FAX 0263-33-9920

ホームページ
<http://www.shironishi.or.jp>

城西医療財団 理念

私達は、病める人、障害を持つ人にいつも優しく、最良の医療サービス及び福祉サービスを一体的に提供する。また、心身の健康保持・増進を志向する人に最良の保健サービスを提供する。利用者を身体的、精神的、社会的、そして倫理的に診療し、科学的根拠に基づいた治療を行う。

ケアハウス「いわかがみ」開設

理事長・総長 関 健



平成22年4月より、ケアハウス（軽費老人ホーム）「いわかがみ」を運営することとなった。去る4月10日には小谷村主催の開所式が挙行され県議会議員をはじめ大町保健福祉事務所、小谷村議会、北小谷駐在所、民生児童委員、北小谷地区連絡員の方々など多数の関係者が出席した。当財団からも理事長・総長以下数名が列席した。式の後、オープンハウスが行われ村内の人々が見学をした。北小谷小学校の卒業生と覚しき人達が列をなして訪れ、「ここが昔の音楽室だったね。」などと話しながら新しい施設に感嘆の声を挙げていた。

今回のプロジェクトは、小谷村ことに北小谷地区の振興も視野に入れている。当財団としても村当局と一緒に事業を推進していくこととなっている。その嚆矢として「小谷村の資源を活かした地域振興」と題するシンポジウムを開催した。当村は、村内に8ヶ所の温泉地を有する豊富な温泉資源があり、森林セラピーソサエティ認定の森林セラピー基地とロードを持っている。この二つをコラボレートさせ県内外及び近隣諸国から村を訪れる人々を誘致しようと目論んでいる。そのための中核施設として廃校となった北小谷小学校体育館及びプールを本年度改装し、健康増進施設として甞らせ来年度より運営する計画となっている。隣接する道の駅とも連携し様々なしかけをして多くの人々の利用を願っている。村内はホテル・旅館・民宿で1万人の収容力があると言われているので滞在型の利用を推進していく。

午後のシンポジウムには、村民をはじめとして関心のある人々100名程が参加した。講演は以下に示すように4名が行い、その後、相澤副村長を交えフロアーの人々と討論を行った。

- ・ 関 健 「健康増進施設と地域振興のしかけ」
- ・ 柳澤 融 (岩手医大名誉教授) 「温泉療法の適応と利用」
- ・ 新貝憲利 (森林セラピーソサエティ副理事長) 「森林セラピーの現状と課題」
- ・ 瀬上清貴 (独立行政法人福祉医療機構理事) 「温泉医学と森林セラピーの可能性」

柳澤先生は、「①温泉は地球が人類に与えた宝物である。尊い資源を無駄にせず、活用することである、②地域活性の為に発想の転換を行い、地元を尊重し、市民、村民の全体的な協力を得ながら、正しい温泉利用に努めていくことが肝要と考える。」と述べられた。新貝先生は、「森林セラピーの効果を①ストレス状態の改善、自律神経系の改善、②抑うつ状態の改善、③集中力等の改善、④活力・エネルギーの増進、⑤免疫機能の改善」と述べ、小谷村の基地・ロードの活用に期待を寄せられた。瀬上先生は、「日本温泉協会第43回旅と温泉展アンケートの結果から、『(温泉に)行く前に重視すること、行ってから実際に満足したこと』として①温泉の泉質湯量湯けむり(25.2%)、②露天風呂外湯など温泉場の魅力(15.5%)、③郷土料理等おいしいもの(14.3%)、④宿泊施設等の設備充実(11.7%)、⑤温泉地の雰囲気(11.3%)、⑥寛げるもてなし・リフレッシュメニュー(7.4%)、⑦周囲の自然景観や名所等(4.5%)」を紹介し、小谷村の温泉は利用者の満足度を高くする要因を全て持っているとして述べられた。討論の中では、森林セラピーガイドの方々より力強い決意表明があり、副村長さんからも今後の地域振興のための我々のしかけに対する大きな期待が述べられた。最後に総長がヘルスプロモーションツールズに言及し、国内はもとより近隣諸国からの観光客の誘致のため村内のホテル・旅館・民宿の経営者の意識改革を強調し、本シンポジウムを締めくくった。

ケアハウス「いわかがみ」開設にあたって

いわかがみ 所長 相澤 稔



去る4月10日、小谷村主催による「ケアハウスいわかがみ」の開所式が、本財団 関 理事長・総長が臨席のもと、県議会議員はじめ地元関係者多数を来賓に迎え盛大に催されました。

ケアハウス「いわかがみ」は平成18年に廃校になった旧北小谷小学校の校舎を改修して整備されたもので、入居定員が22名、大きな特徴として、お風呂は天然温泉かけ流し、暖房と給湯も熱源としてその温泉を活用しています。また、神城醫院の宮城院長が『子供達の思い出がいっぱい詰まった学舎が年代を超えて、お年寄りがゆったりと穏やかに暮らす住まいに姿を変えて受け継がれていく。人と人との結びつき、絆、運命みたいなものを感じますね。ケアハウスの原点のような・・・』このような趣旨のことをおっしゃっていました。まさにそのような温もりが感じられる施設です。地域や社会に認められ、利用者やその家族の要望に確実に応えられ、安心して任せていただけるよう努めて参りたいと思います。

私は、縁あって本年4月から医療、福祉、保健等の分野に優れた実績があり、信頼され、高い評価を得ている城西医療財団の皆様の仲間に加えていただき、ケアハウス「いわかがみ」の運営に携わることになりました。知識や経験も乏しく不安だらけではありますが、城西医療財団の基本方針、理念を十分に理解し、努力する覚悟です。皆様のご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

1. ケアハウスいわかがみとは…

ケアハウスとは、家庭環境や住宅事情などの理由で、自宅での生活が困難な高齢者が、所得に応じた料金で利用できる老人ホームです。

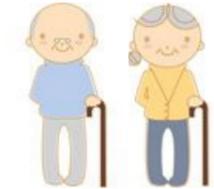
ケアハウスいわかがみは、平成18年に廃校になった北小谷小学校の旧校舎を小谷村が改修・増築し、城西医療財団が小谷村の指定管理者として管理、運営を行います。

豊かな自然環境の中、小学校の面影が残るケアハウスで、快適に生活を送っていただけます。また、隣接する「道の駅 おたり」と同じ天然温泉を浴室に引いていますので、毎日温泉を利用していただけます。温泉のある楽しく快適な生活をお過ごしください。



2. ご利用のための条件は…

- ・ 概ね60歳以上で、自炊が困難な程度で、食事・入浴・着替えなど身の回りのことが1人でできる方。
なお、ご夫婦で入居される場合は、どちらかが60歳以上であること。
- ・ 利用料を毎月滞りなくお支払いいただける方。
- ・ 保証人が2人以上いる方。



3. ご提供するサービスは…

- 〈1〉 協力医療機関等による健康管理
- 〈2〉 緊急時の対応
- 〈3〉 生活相談
- 〈4〉 入浴までの準備
- 〈5〉 栄養士が管理のものの食事(3食)提供
- 〈6〉 充実したレクリエーションの考案
- 〈7〉 在宅福祉サービスの利用手続きのお手伝い



ケアハウスとは、利用者さんの家という考え方です。その中で、お食事・入浴準備などのサービスを提供いたしますが、介護は基本的には提供いたしません。もしも介護が必要になってしまった場合は、在宅福祉サービスをご利用していただけます。

4. 建物・居室等の概要

- ◇ 構造 : RC造2階建(旧北小谷小学校校舎を改修)
- ◇ 定員 : 22名
- ◇ 居室 : 個室(約12㎡) 18室 2人部屋(約16㎡) 2室 注) トイレ、洗面、収納スペースを除いたもの
※床はフローリング仕上げです。
- ◇ 居室設備 : トイレ、洗面台、暖房、収納スペース、緊急呼び出しボタン、ミニキッチン(2人部屋のみ)
※ベッドについてはご用意ください。また、使い慣れた家具をお持ちいただくこともできます。
- ◇ 共同設備 : 一般浴室、特殊浴室、リビング、ダイニング、多目的室、会議室、洗濯室
※施設内のお風呂は天然温泉かけ流しとなっています。
- ◇ 他設備 : スタッフステーション、宿直室
- ◇ 職員配置 : 施設長、相談員、介護員、事務員、栄養士、調理員



※居室のイメージです。